

別記様式第3号（第6条関係）

会議記録

次のとおり附属機関等の会議を開催したので報告します。

附属機関等名称	近江八幡市食品ロス削減推進計画評価部会		
開催日時	令和7年1月24日(金) 14:00-15:20		
開催場所	近江八幡市役所南別館 4階 第1委員会室		
出席者	出席者（敬称略） ※部会長◎ 審議会委員 ◎和田 有朗 ・吉田 栄治 ・大村 啓子 事務局 生活環境課 課長 中嶋 武志 課長補佐 村岡 亘 主任主事 小崎 竣矢 主事 西中 克季 主事 北脇 翔也		
次回開催予定	令和7年3月（第2回 廃棄物減量等推進審議会）		
問い合わせ先	所属名：市民部 生活環境課 担当者名：小崎 電話番号：0748-36-5509 メールアドレス： 010602@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録 ・ <input type="checkbox"/> 要約 理由	要約した 長時間の会議につき、内容を整理したため	
内容	◎市民1人1日当たりの家庭系食品ロス量推計 令和4年までの家庭系食品ロス量の推計をグラフ化。令和5年度は近江八幡市の数値のみ速報値として表示。 本市は全国に比べると少ない量で推移している。 ○委員からの主な意見 ・全国の数値はどのように作られたものなのか →環境省や厚生労働省が作成した数値を利用している。		

◎宴会での調査について

宴会での調査に至るまでの経過説明。

調査内容は三角柱のポップの有無で効果が出るかどうか。当初はポップが2種あったが1種に限定し、総組数65組を調べ63組の数値を採用した。

現在細かいところは集計中だが、飲み放題の有無も含め統計分析上、差が無いという結果となっている。

ポップを置いただけでは効果は出ず、声掛け等も追加で必要かと思われる。

今後は広報誌とてれはちにて周知を行う予定である。

いただいた意見を踏まえ、今後の展開を検討していきたい。

○委員からの主な意見

・差が無いという結果を聞いたが、グラフの数値を見ていると若干は出ていると思うのでそれを反映させて良いのではないか。

・年齢によっても差が出るのではないか。

→調査時に確認していたが見た目での判断になってしまふので正確なものでは無く表記できなかった。

・今後も継続して調査を行うのなら飲食店のお手洗いにポスターを設置する等のポップ以外の方法も検討されてはどうか。

・ポップはどのあたりに置いたのか。お客様が入ってくる時にはすでに置かれている状態なのか。お客様の目に留まるかは雰囲気次第のように思う。

→4人掛けのテーブルが2つとすると真ん中。それが3つになるとテーブル同士の間2か所に置いた。ポップはお客様が入ってくる前に設置している。

・大変な調査だったのだろうが、1回だけというのもあれなので、可能であれば他のお店への声掛けもしてみて方向性を考えてみては。

	<p>◎食品ロス実態調査の結果について</p> <p>市内の食品ロスの調査を 3 年前と同様に行い、金田学区と北里学区を分けて調査した。</p> <p>条件は前回と同様で、ごみステーションからごみを回収し、区分ごとに分類した。</p> <p>市街地（金田）の数値は前回調査と比べて ±3% 以内となつた。郊外（北里）の数値は食品廃棄物の割合が前回 35.2% だったものが 18.8% に、食品ロスの割合が前回 21% だったものが 34% となつた。</p> <p>2 地区の食品ロスの平均割合 30.5% は全国平均 33.0% よりも前回同様低い結果となつたが、前回の 22.6% より 7.9% 増加した。</p> <p>今回新しく調査した含水率は 2 地区平均 80.7% となつた。</p> <p>過剰除去の量も調査（2 地区平均 3.18%）したが、過剰除去と調理くずの明確な区分が無く、現場調査員の主觀によるものとなつてしまつので参考値とした。</p> <p>○委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金田と北里の対象ステーションは何か所で所帯はどれくらいか。 →金田は 4 か所、北里は 10 か所程度のステーションを回つている。所帯数の明確な数値はわからないが、ごみ量を基に試算すると 100 世帯以上の世帯から回収していると想定。 ・郊外の数値は、大きく食品廃棄物は減っているが食品ロスは増えている。何か要因がわかれればお願ひしたい。 →前回の調査も踏まえて考えたが郊外は自身の畠や近所の人からもらった野菜等がそのまま捨てられており、数値の変動が大きい可能性はある。比率が 3 年前と倍になつてゐるのは事務局としても驚きである。 ・3 年前には無かった分譲地ができてゐるので、そういう新しい人たちが要因になつてゐるとは考えられないか。 →今回のステーションの回収場所は旧集落やまとまって出
--	--

	<p>来上がった団地のため、世帯の内容はそう大きく変わらないと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none">・この調査はまた 3 年後に行うのか。 →食品ロス削減推進計画を令和 8 年度に見直す計画になっているので、予算が付けば来年度も同様の調査を行いたい。・食品ロスとして出た食べ残しや直接廃棄、調理くずを有効利用できるものを次の段階として考えてほしい。 <p>近江八幡市ではダンボールコンポストを買った人に補助金を出してくれているが、東近江市では 500 円で販売されておりユーザーの手間が少ない。</p> <p>補助金制度を使うと書類提出の手間や振込まで警察照会などで時間がかかる。</p> <p>手続きを誰でも簡単にできるように改善するのを検討してほしい。</p> <p>◎その他事項について</p> <p>◎指定ごみ袋環境啓発メッセージ表彰式について</p> <ul style="list-style-type: none">・優秀賞、奨励賞を 6 名、19 名選出し、図書カード等を記念品として渡す。・来年度以降も継続して行うので協力をお願いする。 <p>◎年賀状エコポストについて</p> <ul style="list-style-type: none">・食品ロスとは関係ないが、今年度初で取り組む。・郵便局と協力し、1 月～2 月で不要になった年賀状を回収。大津の業者に直接持ち込みリサイクルを行う。・個人情報を保護したまま溶解処理を行う。・県内で他に無い事業で、現在既に好評をいただいている。 <p>○委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none">・表彰制度は今年度限りでなく、今後も続けていくほうが、小学生のモチベーションにもなるのでお願いしたい。・年賀状エコポストは面白い企画で良いと思う。
--	--